

ikeijuen



その先の、道へ、北海道
Hokkaido, Expanding Horizons



西内山ヒルズ STORY vol.5

介護報酬改定で高まる科学的根拠の重要性!!

求められるのは「自立支援・重度化防止」

西円山敬樹園 夏祭り

今年もたくさんの方の笑顔に出会うことができました！
ご家族の皆様、地域の皆様、ありがとうございました！



獅子舞さんに頭を噛んでもらったから
御利益あるわよ



今年は例年より早い7月初旬の開催でしたが、朝から気温が低く、屋内での開催となりました。毎年好評の「乱拍子」さんの演舞で会場はあっという間にヒートアップ！和太鼓、傘回し、獅子舞と、今年も熱気あふれるステージを披露して下さいました。和太鼓では車いすのご利用者も参加され、立ち上がって、力強い音を鳴り響かせてくださり、会場からは大きな拍手が寄せられました！来場されたご家族からも、「楽しかった～！」「また見たい！」との声を頂戴しました！

2018.7.7



昨年に引き続き、霖雨の呂様より洋菓子等の出店や、ハンドベル・よさこい等の出し物も披露していただきました！また、実習生に来ていた学生さん達が大量ボランティアに来て下さり、出店やご利用者の介助を手伝って下さり、ゲームでも盛り上げて下さいました！本当にありがとうございました！



ご協力いただきました 社会福祉法人光の森学園 霖雨の呂様・学生ボランティア（北海道福祉大学・日本福祉大学・北海道科学大学・日本医療大学・札幌心療福祉専門学校・藤女子大学）の皆様
ありがとうございました！



かき氷
頑張った
早いよ

interview

平成30年度の介護報酬改定は、質が高く効率的な介護を掲げ、安心・安全で自立支援・重度化防止に資する、質の高い介護サービス提供が求められました。今回の改定を踏まえて、施設介護職員の責任者とリハビリテーション部門の責任者お二人にお話を伺いました。

*** 今回の改定を各部署長としてどのように捉えているのか？**

『特養の位置づけが変わった！』

(田村) 私は就職してからずっと敬樹園で勤務してきました。今迄、幾度も介護保険制度の改定を経験してきましたが、今回の改定では「自立支援・重度化防止」という文言が明言されました。また、褥瘡予防・排泄支援にも加算が新設され、国の政策が大きく変わり始めたと感じています。今までは質の高いケア提供を目標にしてきましたが、リハビリテーションの実施が求められたことは、**特別養護老人ホーム**の位置づけが変わり、大きな転換期を迎えたと感じています。

『来るべきものが来た！』

(高橋) 私は^(※1)老人保健施設で勤務してきたので、リハビリテーションを提供する仕事を行って来ました。敬樹園に異動にしてからは、長期的な目標を立てながら集団・個別のリハビリテーションを実施して来ました。リハビリ職員の視点から各部署へ様々な情報提供・提案を続けて来ました。今回の改定は、今までの人員配置や体制加算などではなく、リハビリテーションを提供して結果・成果を求める内容となっており、ついに特別養護老人ホームにも「来るべきものが来た」と思っています。

***では、新しい課題に取り組んで行かなければなりません。敬樹園に於ける施設サービスを客観的に自己評価して頂きたいと思いませんか？**

『介護人材不足』

(田村) 特養に求められる内容は改正の度に変化し、今では根拠を持ったサービス提供が当たり前となっています。敬樹園でも施設内外の研修参加・外部講師を招いた研修会を継続して実施しています。高い専門性を身に付けるための取り組みを継続していますが、まだまだ取り組むべき課題が沢山あると思っています。また、当施設だけではありませんが慢性的な介護職員不足の問題があり、多くの問題を抱えながら毎日の業務を行っています。職員の教育体制・研修の在り方・会議の在り方の見直し課題です。

『機能維持を目的とした介護』

(高橋) 老人保健施設に勤務していたので、利用されている方の在宅復帰を目指しリハビリを行って来ました。敬樹園に異動してから感じたことは、「機能維持」を基本に現状の維持・安全第一にケアを提供していると感じていました。今回創設され

介護報酬改定で高まる科学的根拠の重要性 !! 求められるのは「自立支援・重度化防止」



生活リハビリ課
主 任
たかはし えりこ
高橋 永里子

滝川市出身。言語聴覚士の専門学校を卒業後、グループ施設の老人保健施設に入職した勤続20年超えの大ベテラン。自己研鑽の研修にも積極的に参加し、「安心・安全」がモットーの仕事同様、食生活もオーガニックにこだわる派。残業も多い中、家事もきっちりこなし、美容とファッションにも手抜きなしのパパバリワーキングマザー。



生活支援課
課 長
たけだ みか
田村 みか

新潟県出身。高校卒業後単身海を渡り、介護の専門学校へ。新卒で西円山敬樹園に入職して以来の勤続20数年の生粋の西円山ヒルズ族。多くの職員を育成し、新規施設に送り出してきた介護職員の母的存在。趣味は「仕事」といっても過言ではないほど、ご利用者を愛し、敬樹園愛もBIGな頼れるリーダー。愛犬には目尻が下がりはなし。



経営管理課 兼
生活相談課
課 長
ほり まさゆき
堀 雅之

札幌市出身。大学より社会福祉学部を専攻し、障害者施設・病院・福祉施設とこの道一筋30数年。平日も筋トレを欠かさず体力年齢は推定30代。週末はススキノ・休日はガーデニングに釣り・キャンプ・登山とアクティブ派。釣りは遠洋漁船のバイト時代に培った腕前でプロ級との噂。自ら捌いて料理もこなす経営管理部のフォアマン。



***高いハードルをクリアするために、責任者としてどのように取り組んで行こうと考えていますか？**

『介護職員の意識転換』

(田村) 介護職員の課題は沢山あると思いますが、職員全員の意識転換を早急に始めて行く必要があると考えています。地域包括ケアを推し進めて行く政策の中、特養の位置づけが大きく変化してきています。危機感を持って全職員で共有しなければなりません。また、専門的な知識を身に付けること・専門的な分析と評価を実践すること・根拠を全員が示すことが出来る教育体制の整備が急務と考えます。ご家族・関係者の皆さんに対して、敬樹園のサービス根拠を全員が説明できる、そんな専門性を身につけて行かなければいけないと強く思います。そして、介護職員がケアを提供する場面で常にリハビリテーションの視点を持って評価し、改善策を実践できるよう教育システムを変更して行きます。後は、私自身が変わらなければいけないと痛感しています。

(高橋) 私と田村課長が話した通り「意識転換」を早急に始めなければいけないと考えています。従来のサービス提供という考え方から、「特養の自立支援とは何か」、「日常のケアにリハビリテーションをどう取り入れるか」という考え方に変えなければならぬと思います。施設の中で介護職員はご利用者と接する時間が長く、誰よりも理解している職種であると思っています。リハビリ職として医師・介護職員・看護師・その他の職員と連携を深め、適切な評価改善が出来る体制作りを目指したいと思っています。また、大切なご家族をお預かりする立場として、私たちには説明責任があると考えています。実践しようとするこの目的・根拠を説明するための言語力・説明能力も課題となると考えます。

***色々お話を伺いましたが、最後にお二人の夢・目標を聞かせて下さい。**

(田村) 私の夢と言うより目標は、第一に、ご利用される皆さん・ご家族の皆さんに安心して頂ける施設作りを目指す事。第二に、介護職員が専門職として自信を持って働ける職場を作りたいと思っています。

(高橋) ご利用者の自立支援のため、「いつでも」「どこでも」「誰でも」出来るリハビリテーション体制の構築と、「生活の中に根付いたリハビリテーションの提供」が私の目標です。

(インタビュアー) 特別養護老人ホームに求められた自立支援と重度化防止、私達には大きな使命が与えられています。立ち止まっている時間は無いので、日々前進あるのみと再認識しました。

(※1) 特養：特別養護老人ホームとは～要介護3以上で在宅で生活が難しい方が入所できる施設です。
(※2) 老健：老人保健福祉施設とは～リハビリを重点的にを行い、在宅復帰を目指す施設です。

GO OUT EVENTS!

皆さん待ちに待った外出行事の季節！こちら敬樹園は高台にあるので眺めがとても良いのですが、さらに高い場所に位置するお隣、札幌西円山病院の屋上も外出先に新たに加え、初夏の薫りを満喫してきました！

札幌西円山病院 屋上&喫茶店



澄み渡る青空と、新緑が眩しいこの季節。屋上からの眺めも素晴らしく、皆さんとても気持ち良さそうでした♪



もりもと

「もりもとミツハ大橋店」さんでお買い物とスイーツも楽しんできました♪焼きたてのあま〜い香りがたまらない！たくさんあって迷いながらも皆さんたくさん買われていました！



円山動物園

今年3月にオープンした「ホッキョクグマ館」！早速行ってきましたよ！国内最大18メートルもある水中トンネル！シロクマが泳ぐ姿は皆さんご覧いただけましたか？遊びに来てた園児さん達のはしゃぐ姿にご利用者も「可愛いねえ」と喜ばれてました♪



イオン

「イオン」さんでお買い物とランチを♪お寿司はやはり大人気！食後スタバでコーヒーも飲んできましたよ！白い恋人パークでは、オルゴール館をゆったり眺めたり、レストランでスイーツも楽しんできました！



白い恋人パーク



HANABI !

2018.7.25



夏の夜を彩るイベント！空に浮かんだまんまるお月様にも感激されてました。職員の子供も遊びに来てくれて、喜ぶ姿に目を細めながら、「た〜まや〜」とご利用者も楽しまれていました！

行事予定

9月

◆敬老祝賀会
(9/14 金) 11時〜
長寿の方のお祝いを大ホールにて行います。

◆出前お食事会
(9月〜10月)
お寿司や種類など、お好きな出前を楽しんでいただきます。

10月

◆出前お食事会
ご家族も参加できますので、日程などお気軽にお問合せください。

喫茶「樹」

■毎月第1・3金曜日
10:30 ~ 15:00

■毎月第2・4金曜日
14:00 ~ 16:00

コーヒー、アイスなど
全品100円！

ボランティア・ドック

■毎月第4土曜日
10:45 ~ 11:15

8/26 (土)
9/22 (土)
10/20 (土)



イトーヨーカ堂 出張販売

■毎月第2土曜日
10:00 ~ 11:30

9/9 (土)
10/14 (土)



医療法人 廣仁会
く 溪仁会円山クリニック 中)大通西 26 丁目 3-16
TEL(011)640-7012

私ども「施設」が持つ情報や知識を地域にお住いの方々に還元させて頂くことで、地域の福祉向上につなげる一助となるよう「円山町町内会」の皆様を対象に行っている企画第5弾！6月18日(月)に溪仁会円山クリニックで開催し、22名の方にご参加いただきました。

当日は、「もっと知りたい人間ドック！」での施設概要・見学と、「食べて伸ばす健康寿命～シニア世代からの食事のポイント」、「メディカルフィットネスの見学体験」の3部構成で行い、参加された皆様より「生活を見直すためにも大変参考になったと大好評でした。

「健診を上手にを使って健康長寿を目指すセミナー」

施設の概要や札幌市の健康診断についての説明では、料金のことなど質問も多く寄せられ、関心の高さを伺えました。実施件数が多い胃内視鏡検査室や、婦人科健診を行うレディースフロアなどを見学していただきました。

シニア世代の食事のポイントは、わかりやすかったと大好評。食べ方とタイミングなど、キーワードが記憶に残る説明に皆さん頷きっぱなしでした。フィットネス見学では、健診結果とあわせて指導が受けられる制度のご説明や、画面をみながらBGMにあわせて体を動かしたり、自宅でもできる簡単な体操を健康運動指導士よりご案内いたしました。



「地域公開セミナー」のお知らせ！

お問合せ先 経営管理課 担当 菊地・中谷 631-1021

開催日時：2018年10月16日(火)13:00～17:30

開催場所：北翔大学北方圏学術情報センター「ポルト」

(札幌市中央区南1条西22丁目1-1) 駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください。



入場無料

カンパリア宮殿にも出演！
介護業界のインベーター！



●VR 認知症体験 (要事前予約)

14:00～15:30

2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症のある人が見ている世界をVRで体験することで、一般に知られていない認知症の現状や、認知症の症状や特徴に語られる認知症の現状や特徴を伝えること＝アングルシフトを目指しています！

●講演会 15:45～17:15

～サ高住「銀木屋」から生まれたVR認知症体験～
「アングルシフトで未来に希望を！」

株式会社シルバーウッド

代表取締役 下河原忠道 氏

～認知症になっても幸せな暮らしは継続できる！～

入居率ほぼ100%の高齢者住宅「銀木屋」を運営する下河原氏が開発したVR認知症体験会。相手の立場になって物事を見つめること(アングルシフト)によって様々な偏見を溶かし、という取り組みが全国各地の自治体・教育機関でも話題となっています。超高齢社会を幸せに暮らすヒントをこの機会にぜひ！



●盲導犬体験

(協力:北海道盲導犬協会様)

ペッパーも
来るよ！

●介護ロボット体験

(協力:㈱マルベリー様)

14:00～15:00

●シニアファッションショー

15:00～15:30 (協力:北翔大学様)



- 無料カフェコーナー
- 介護機器展示
- 各種相談コーナー

編集
後記

今年も半分が過ぎたなぁと思っていたら、真夏日が続く札幌、気づいたら秋風が吹いているのでしょうか。「介護のしごと魅力アップ推進事業」として岩内・八雲・美唄と行ってきたイベントが今年は札幌で開催する運びとなりました！たいま詳細の準備を進めております！今後、敬樹園のホームページでもご案内していきますので、ぜひ皆様のお越しをお待ちしております！(広報委員 CN)

※広報誌への写真掲載に関しては、承諾書を得た上で掲載させていただいております。